

投資事業評価調書(新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 金田宣文 (藤田 宜久)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約9.2億円
		特定交通安全施設等整備事業 (国)178号	浜坂町三谷～浜坂	うち用地補償費	約5.9億円
所在地				着工予定年度	完成予定年度
浜坂町三谷～浜坂				平成18年度	平成22年度
事業目的			事業内容		
交通安全対策 ・自転車利用者、歩行者交通量の多い当該路線において、人と車の輻輳による危険性が高く、歩道の整備を行うことで、歩車分離構造による交通安全対策を推進する。			歩道整備(片側) L = 9 0 0 m W = 2 . 0 m (2 . 5) m (片側) 現 況 歩道なし (負担割合 国1/2 県1/2)		
評価視点					
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量、歩行者・自転車交通量が多い。 (自動車7,367台/日、歩行者164人/日、自転車165台/日) ・過去5年間に事業予定区間で自転車・歩行者の交通事故(7件)が発生している。 ・死傷事故率(59.5人/億台km) ・福祉のまちづくり重点地区(浜坂市街地地区)内の事業であり、整備計画において、歩道の整備が提案されている。 ・住民参加による交通安全総点検を実施し、歩道の必要性が提案されている。 ・連続性の確保(前後の整備状況・・・起点側は歩道整備済、終点側の浜坂温泉線との交差点部は歩道整備済) ・浜坂北小学校、浜坂中学校の通学路に指定されており、浜坂中学校、浜坂高等学校の生徒が多数自転車による通学を行っている。 ・近隣には、JR山陰本線浜坂駅があり多様な交通環境にある。 				
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。 ・円滑な事業執行に向けて、地元の協力体制等が整っている。 ・味原川の河川改修に伴う国道橋梁(桶の内橋)の架け替えをH18年度～H19年度に行うため、H17年度中に工程調整を図る。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道部に透水性舗装を採用し、雨水を地下に還元するなどの環境にやさしい構造とする。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の通学路に指定され、朝夕の通勤通学時には、歩行者と自転車利用者が輻輳するなど車道へのはみ出し交通が発生し危険な状況にある。 				